

## 理事長コラム【看取りで死を迎えるために】

高齢者で認知症の重い方のご家族で、病院での死ではなく、老人ホームでの静かな死を迎えさせたいという方が最近は多くなりました。

いわゆる延命を望まずに、自然な死を望まれることです。

通常病院では看取り医療は大きな延命治療は行いませんが、安らかな死を迎えていただくため、酸素吸入や点滴のみは行います。

心電図や呼吸のモニターにより、生命反応は経時に医師や看護師が把握します。

一方老人ホームでの看取りでは看護師と介護者の見守りはできるのですが、はっきりとした死亡診断はできません。

結局外部から医師を招請し、診察することになります。常に24時間医師が待機することは困難で、通常は通院先の主治医や他の医師にお願いすることになります。

最近当院へ短期間入院され、その後ご家族の意向であい寿の丘へ死を迎えられた方がいらっしゃいます。

当院入院時から食欲が全くなく、あい寿の丘に戻ってからも水を少しだけ飲む程度で、おしっこが出なくなり、全身のむくみや冷感が強くなりました。

それでも1週間ほどは命永らえておられましたが、ついに息を引き取られました。  
私は駆けつけることができず、近隣の大岩大介先生にご足労をおかけしました。

看取りは人が死ぬ方法の一つです。悪い方法ではありませんが、周りの人々の理解と協力がどうしても必要です。

## 火災想定避難訓練



あい寿の丘での火災発生を想定して、避難訓練を行いました。  
火事の発生時に一番大切なのは、初期消火です。消火器の使い方を再確認しました。  
その後、ご利用者をいかに安全に避難するか、配電盤の確認の仕方も含めて訓練を行いました。

あい寿の丘 ほっかほか  
ふれあいホットニュース

2017年2月 節分号



## ≡節分を楽しみました≡



2月3日に節分の豆まきを行いました。  
「福は内・鬼は外」大きな掛け声と一緒に豆をまきました

豆を投げる由来は「魔を滅する」なのだと思います。

悪い鬼を追い出し、たくさんの福が舞い込んできますように。



節分の日、そよかぜのおやつは「鬼シュークリーム」。

顔を書いて、角をのせて、ご利用者からは「かわいくて食べられないよ～！」との声も上がっていました。

## 雪だるま作りを楽しみました

1月に降った大雪の日は、施設全体が真っ白になり、まるで雪国のようにでした。

ひだまり・そよかぜのご利用者は、雪だるまを作られました。

皆さん、普段と違う日常を楽しんでいましたよ。



## 大正琴の音色を満喫しました

大正琴のつばき会の皆様が、南知多町ディサービスセンターへ来て下さいました。

お馴染みの曲を沢山、演奏して下さり、ご利用の皆さんには、楽しいひと時を過ごすことができ大満足。

大きな声で演奏に合わせて口ずさんでいました。



## ケアハウスでりんごの木を作りました

昨年の秋から作成を開始して、ついに完成了。

「何色を入れようか。どこに貼ろうか。」と色目を考えておいしそうなリンゴの木の完成です。

ケアハウスがとっても華やかな雰囲気になりましたよ。



## 102歳のお誕生日



ひだまりご利用者が1月の誕生日を迎え、102歳となられました。午前中は、ご本人のリクエストにお応えし「いちごの丘」にケーキを食べに行って大満足。午後は、ご家族の皆様が集まりお祝いしてくださいました。

## お茶会のご案内

日時: 3月19日(日) 10:30~12:00

場所: あい寿の丘

皆様のお越しをお待ちしております。



## 鏡開きでぜんざい作りを楽しみました

お正月に飾った鏡餅をさげ、鏡開きを行いました。

「寒い冬には、温かいぜんざいがおいしいよね」ということで、ぜんざいを作りました。

甘くて体もポッカポカ！



## 餅米100%のおはぎを作りました

南知多町ディサービスセンターの今月の手作りおやつは、餅米100%のおはぎです。

餅米を炊き、つぶして平らに広げて、あんこを真ん中に入れてから丸めます。

仕上げは、きなこをふりかけて、もちもちで美味しいおはぎの出来上がり！「昔はよく作ったな」と昔話にも花が咲きました。



## そよかぜ・ひだまりの手作りおやつ



そよかぜ・ひだまり、今月の手作りおやつは、ドーナツを作りました。丸形は難しいので、スティック状に！手軽で食べやすくとても好評でした。美味しいでついつい手がのびちゃいますね。